平成27年度事務事業評価シート 取組みコード

42213

平成27年5月14日 区分 各種スポーツ行事開催事業費(町ー周駅伝競走大会) 開始年度 昭和30年度 事業名 9.5.1.3.1

1 重業の無声

」 尹耒♡	ノ似安						
総合計画での位置づけ							
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり 章 第2章 活発で個性豊かな文化づくり						
節	第2節 スポーツ・レクリエーション活動の推進 基本施策 1 スポーツ・レクリエーション活動の推進						
取組みの	基本方向 (3)駅伝大会などスポーツイベントの充実をはかるとともに、地域でのスポーツ行事の振興につとめます。						
根拠法令	estation of the second of the						
目 的 (誰・何をう 象に、何の ために)	D						
内容・方法	町内の行政区で構成されたチームを1部、町内の事業所、走友会等で構成されたチームを2部として、チーム対抗の駅伝大会を行う。						

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

_ 4 相保(争未の以来・治	判ド	中的	守で数十で衣しより	<u> </u>				-	
本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度 平成		成28年度			
		くポー つい	ツ・レクリエーション活動の推進』 て「満足」と感じる住民の割合	36.7%		42.0%			
2. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.	ス	スポーツ施設の利用者数		477,412人/年 500),000人/年			
(A)総合計画の節の目標を るため本事業に求められる			各行政区からチーム7 た出場者同士の親睦				ポーツに対	する意識 <i>0</i>)向上、ま
(A)の成果をあげられているか 測るための指標(成果指標)	増減	Ž	指標の説明	項目	基準 (平成2		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	増	_	加チームが増えれば	計画値			43.0	43.0	45.0
参加チーム数		大会も盛大に開催でき、出場者同士の交流	実績値	43	.0	43.0	45.0		
		もより深まる。		達成度※自動計算		_	100.0	104.7	0.0
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動 参加チーム募集の広報啓発									
(B)の活動状況を測るため の指標(活動指標)	増減	指標の説明		項目			平成25年度	平成26年度	平成27年度
	増	広報、ホームページへ		計画値		_	6.0	6.0	6.0
参加チーム募集の広報 啓発件数		の掲載及び本庁など4	実績値		_	6.0	6.0		
		固	所での要綱等配布	達成度※自動計算		<u> </u>	100.0	100.0	0.0
※ 増減欄は 指標の値につい	17	抽力	nが望ましい場合に「増」	減少が望る	±11/1	具合に	「減」を記り	はする	

[※] 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 4	事業引	貴の推移と財源内	(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000				
年 度		年 度	基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)	
(A)事業費(円)		費(円)	2,028,429	2,115,477	2,424,449	2,437,000	
(B)概算職員数(人)		哉員数(人)	0.500	0.500	0.500	0.500	
(C)=(B)×(E) 人件費(円) ※自動計算			4,150,000	4,150,000	4,150,000	4,150,000	
(D)=(A)+(C) 総事業費(円) _{※自動計算}			6,178,429	6,265,477	6,574,449	6,587,000	
単位当たりコスト※自動計算		リコスト _{※自動計算}	143,684.4	145,708.8	146,098.9		
日士	特	国庫支出金					
財 源	定	県支出金					
内	財	地方債					
1-17	源	その他					
(円) 一般財源※自動計算		般財源※自動計算	6,178,429	6,265,477	6,574,449	6,587,000	

4 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定		
	法令等で義務付けられた事業である		В		
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委っ	0			
	国や県において同類種の事業が実施されていない	0			
妥当性	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない	0			
(公費を投入して実施することが妥当な	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供され	0			
事業か)	受益に応じた負担は適正である				
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質	0			
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である	·			
	上記のいずれにも当てはまらない				
有効性 (基準年と比較して	成果指標について平成26年度の目標を達成している	0	٨		
成果が上がっているか)	 基準年度と比較して成果が向上している	Ο	A		
効率性 (なるべく費用をかけ ずに成果を上げてい るか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用増>成果アップ	С		
有用性 (施策の成果指標の	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	D		
目標達成に貢献して いるか)	総合計画の節内での本事業の優先順位	411111111111111111111111111111111111111	高くない	В	
	<mark>総合評価 ※自動判定</mark> 改善すべき点がある				

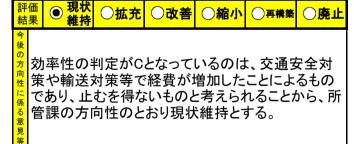
5 特記事項

効率性の判定がCとなっているが、交通安全対策の強化が求められていることや、選手の輸送バスの増加のため費用が増加したものであり、安全かつ円滑に事業を行う上では止むを得ないものと考える。

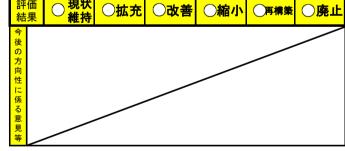
6 自己評価(担当課)

評価結果	● 現状維持	拡 充	○ 改善	○ 縮 小	○再構築	〇 廃止
理由	ー概に参加チームが 望まれる。	増加すれば良	いものではなく、大	会規模に見合った	参加チーム数があ	り、現状維持が
今後の 方向性	交通安全対策や、 チームの増加に繋				いるが、予算の均	曽加が直接参加

7 1次評価(庁内行政評価委員会)



8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)



9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

	41 4 0 D D 1 1 1 0 0 0 0 7		H 104 /			
評価結果	◉ 現状維持	○ 拡 充	〇 改善	○ 縮 小	○再構築	○ 廃 止
理由 . 改善方針	現状のまま引き	続き事業を実施	iする。			